

# 南紀生物

第54巻 第1号

平成24年6月発行

大和茂之・遊佐陽一・田名瀬英朋：南方熊楠の「ウガ」の標本について……………	1
小菅文治：石垣島大浜におけるヒメシオマネキの繁殖期……………	5
川上寛子・高橋奏恵・溝口恵敬・山元晃・山本好和：和歌山市紀伊風土記の丘の地衣類……………	8
諏訪剛：和歌山県沿岸各地におけるヒジキ幼芽の生長特性の違い……………	13
久保田信・田名瀬英朋：和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所北浜に最近9年間(2003年-2012年)に漂着したウミガメ(爬虫類)……………	17
明石英幹・滝川祐子・倉持卓司・吉松定昭・野村美加・多田邦尚：瀬戸内海備讃瀬戸海域から得られたドングリシャミセンガイ <i>Lingula rostrum</i> (SHAW, 1798) の記録……………	19
中尾史郎・景井直人・増田倫士郎：京都府におけるイトアメンボの再検討と新産地……………	22
平嶋健太郎・丸山秀人：和歌川河口干潟の魚類相……………	24
湊宏：小大下島(愛媛県)の陸産貝類、特にシメクチマイマイとタダアツブタムシオイについて……………	31
小川数也・野村恵一・山田豪朗：分類形質としての刺胞の再検討—IV. ムカシサンゴ科・ハナヤサイサンゴ科……………	37
倉持卓司：三浦半島の潮間帯より採集されたムラサキクルマナマコ(ナマコ綱：無足目)の生息環境……………	43
土井敏男：神戸市内における背中線型ヌマガエルの新産地……………	45
土岐頼三郎・江川和文：和歌山県産ミスズイ(軟体動物門：腹足綱：アキガイ科)の卵囊とその幼生……………	48
中尾克比古・平嶋健太郎：紀伊半島初記録のナンヨウボウズハゼ <i>Stiphodon percnopterygius</i> WATSON et CHEN……………	50
西栄二郎・柚原剛・多留聖典・陶山典子：福島県松川浦干潟と千葉県市原沿岸の干潟から採集されたヒガタケヤリムシ <i>Laonome albicingillum</i> (多毛綱：ケヤリムシ科)……………	52
倉持卓司・厚井晶子・長沼毅：京都府阿蘇海で採集されたコウロエンカワヒバリガイ(軟体動物門：二枚貝綱：イガイ科)……………	55
榭谷英樹：兵庫県家島諸島で発見されたタコクラゲ……………	57
山本修平：近畿地方におけるバクチノキ(バラ科)の分布……………	59
中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・江川和文：和歌山市加太周辺の貝類相 III……………	61
朝井俊亘・小田真奈美・岡本なずな・川端青・久保喜計：和歌山県太地沖で漁獲されたダイナウミヘビ <i>Ophisurus macrorhynchus</i> およびマアナゴ <i>Conger myriaster</i> の消化管内容物……………	67
勝見啓吾・齋藤葵・林博之：汽水に順化させたカワヨシノボリの塩分耐性……………	71
土井敏男：ヌマガエル幼体による大型のミミズに対する捕食行動の観察例……………	73
久保喜計・武内啓明・山野ひとみ・朝井俊亘：和歌山市磯ノ浦沿岸で得られたタコブネ(頭足綱、タコ目、アオイガイ科)……………	77
久保田信・山口一夫・岸田拓士：和歌山県田辺湾に最近の20年間に漂着・座礁・迷入したクジラ類(哺乳類)……………	79
上出貴士：2010年10月から2011年3月の和歌山県日高郡日高町高家地区へのハイイロチュウヒ <i>Circus cyaneus</i> (タカ目 Falconiformes, タカ科 Accipitridae) の出現状況……………	81
雑報：会記事・会告・受贈文献・新刊紹介・会則・投稿規定・あとがき・夏の観察会の案内……………	

THE NANKI SEIBUTU

Published by

THE NANKI BIOLOGICAL SOCIETY

南紀生物同好会